

# 和白干潟は自然の宝庫

(山本 廣子)

## 海岸本来の姿残す和白干潟 (植物)



ウラギク

戦後日本全国で4割以上の干潟が埋め立てられてしまいました。自然海岸のある和白干潟沿岸は、海浜植物や塩生湿地植物の貴重な生育場所です。希少種としては、右のものが知られています。またハマニンニク（九州では和白海岸にのみ自生）とハマアカザは日本の南限となっています。海浜植物の後背にはテリハノイバラ・ハマゴウなどの低木群落があり、その後背地にはトベラ・シャリンバイ・マサキ・センダン等とクロマツ林があります。アシ（ヨシ）原奥の淡水の湿地では、ヒトモトススキの大きな群落地があり夏に黄土色の穂を付けます。海浜本来の姿が残されている貴重な場所です。

名 前	環境省レッドリスト	福岡県レッドデータブック
シバナ	準絶滅危惧	絶滅危惧 B類
ウラギク(ハマシオン)	準絶滅危惧	絶滅危惧 B類
ハマサジ	準絶滅危惧	絶滅危惧 類
フクド	準絶滅危惧	絶滅危惧 類
ハマオモト		絶滅危惧 B類
ハマボウ		絶滅危惧 類
ハマニンニク		絶滅危惧 類

## 東アジアの渡り鳥の渡りルートに当たる和白干潟 (鳥類)

和白干潟は旅鳥や越冬する鳥たちがたくさん訪れています。和白干潟で観察される鳥のうち「希少種」は、下記の通りです。ミヤコドリは江戸時代から和白干潟付近に渡ってきていることが「筑前国産物絵図帳」に書かれています。1980年から2000年代頃には和白干潟はミヤコドリの渡来地として有名でしたので、和白干潟のシンボル鳥として和白干潟を守る会の「会鳥」に指定しました。現在は20羽程が毎年越冬しています。クロツラヘラサギは1990年代初め頃から見られるようになり、最近では15羽程が和白干潟で越冬しています。

名 前	環境省レッドリスト	福岡県レッドデータブック
クロツラヘラサギ	絶滅危惧 B類	絶滅危惧 B類
ホウロクシギ	絶滅危惧 類	絶滅危惧 類
コアジサシ	絶滅危惧 類	絶滅危惧 類
ハヤブサ	絶滅危惧 類	絶滅危惧 類
シロチドリ	絶滅危惧 類	準絶滅危惧
ツクシガモ	絶滅危惧 類	準絶滅危惧
オオソリハシシギ	絶滅危惧 類	準絶滅危惧
ミサゴ	準絶滅危惧	
ハマシギ	準絶滅危惧	
ヘラサギ	情報不足	絶滅危惧 B類

名 前	福岡県レッドデータブック
ミヤコドリ	絶滅危惧 類
ダイシャクシギ	絶滅危惧 類
ホオジロガモ	絶滅危惧 類
カンムリカイツブリ	準絶滅危惧
ミユビシギ	準絶滅危惧
オオヨシキリ	準絶滅危惧



ミヤコドリ



クロツラヘラサギ



## 底生動物にも沢山の希少種が

和白干潟は主に砂質の干潟です。和白干潟の底生動物のうち「希少種」は下記の通りです。



ハクセンシオマネキ



ウミニナとツボミ

名 前	環境省レッドリスト	福岡県レッドデータブック
シオマネキ	絶滅危惧 類	絶滅危惧 B類
ハクセンシオマネキ	絶滅危惧 類	絶滅危惧 類
オカミガイ	絶滅危惧 類	絶滅危惧 類
キヌカツギハマシノミ	絶滅危惧 類	絶滅危惧 類
ウミニナ	準絶滅危惧	準絶滅危惧
フトヘナタリ	準絶滅危惧	準絶滅危惧
ツボミ	準絶滅危惧	準絶滅危惧
オオノガイ	準絶滅危惧	準絶滅危惧

名 前	福岡県レッドデータブック
ウモレベンケイガニ	絶滅危惧 類
ツバサゴカイ	絶滅危惧 類
ハマガニ	準絶滅危惧
ヒメアシハラガニ	準絶滅危惧
オサガニ	準絶滅危惧
ヨモギホンヤドカリ	準絶滅危惧
イトメ	情報不足



貴重な生物や植物の宝庫、大切な和白干潟をラムサール条約の登録湿地にして、守っていきたくて願っています。